

9月24日 テモテへの手紙― 6章1～12節

説教題：「わたしたちはそれで満足すべきです」

本日の説教題は、与えられた聖書箇所8節の言葉「食べる物と着る物があれば、わたしたちはそれで満足すべきです。」という言葉からつけさせていただきました。そのまま聞けば、随分と厳しい言葉です。手紙の読者たちだけにではなく、私たちに対しても「今あるものに満足しなさい」という神様からの呼びかけが聞こえてきます。皆様は、今の生活でどれほど満足しているのでしょうか。

私たちの人生は、「不満の連続」の人生ともいえると思います。子どもの頃は素朴でキラキラした夢を描いて、中学高校と年齢が上がっていくにつれて現実を知り、だんだんと実現可能な選択肢ばかりを選ぶようになっていきます。私たちは人生の中でいくつもの選択を行い、しかしそのすべての選択に成功してきたわけではないと思います。時に振り返ってみれば「もしかしたらこうしたほうが良かったかもしれない」という、不満や後悔にあふれた選択をしてしまったことも、あるのではないのでしょうか。しかし私たちには、あふれんばかりの神様の愛が注がれています。その愛を満足して受け止めることが出来れば、私たちの信仰の歩みは決して間違っていなかったと、私たちは今満たされているのだと知ることが出来るのです。

時に私たちは、現状与えられたものを受け止めて、それに満足をすることが出来ます。神様がここまで多くのものを私たちに下さっている、ということを理解することは、神様の愛の大きさを理解する第一歩となります。今あるものに満足をしないということは、神様に対して「あなたがわたしに下さっている愛は、私が望むよりも随分ちっぽけだ」と言っているのと同じことになってしまうのです。そうではなく、今私たちがどれほど多くの愛に包まれているのかを実感することが、満足へとつながっていくのです。

そしてそれと同時に、私たちは時に満足して足を止めることなく進み続けることが求められます。私たちが持つ持ち物には満足をしながら、それでもイエス様の大きさを、神様の御心の大きさを知っている私たちは、そこにたどり着こうと、少しでも近づこうと努力を続けるのです。私たちが少しでも真実に近づくために、少しでも御心を広く宣べ伝えるために、現状に満足することなく高みを目指すことも求められているのです。

今日の聖書箇所は、次の言葉で締めくくられています。「正義、信心、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。信仰の戦いを立派に戦い抜き、永遠の命を手に入れなさい。命を得るために、あなたは神から召され、多くの証人の前で立派に信仰を表明したのです。」私たちは、神様の御心を実現するために、信仰に入ったその時から多くのものを頂いています。「正義、信心、信仰、愛、忍耐、柔和」その一つ一つに強められて、これからも生き続けていくことが出来るのです。神様の力強い愛に強められながら、今週一週間の歩みを、これからの歩みを共に進めていきましょう。

- ・1: 軛の下にある奴隷の身分の人は皆、自分の主人を十分尊敬すべきものと考えなければなりません。それは、神の御名とわたしたちの教えが冒瀆されないようにするためです。主人が信者である場合は、自分の信仰上の兄弟であるからといって軽んぜず、むしろ、いっそう熱心に仕えるべきです。その奉仕から益を受ける主人は信者であり、神に愛されている者だからです。

これらのことを教え、勧めなさい。異なる教えを説き、わたしたちの主イエス・キリストの健全な言葉にも、信心に基づく教えにも従わない者がいれば、その者は高慢で、何も分からず、議論や口論に病みつきのなっています。そこから、ねたみ、争い、中傷、邪推、絶え間ない言い争いが生じるのです。これらは、精神が腐り、真理に背を向け、信心を利得の道と考える者の中で起こるものです。もっとも、信心は、満ち足りることを知る者には、大きな利得の道です。なぜならば、わたしたちは、何も持たずに世に生まれ、世を去るときは何も持って行くことができないからです。

- ・8: 食べる物と着る物があれば、わたしたちはそれで満足すべきです。金持ちになろうとする者は、誘惑、罠、無分別で有害なさまざまの欲望に陥ります。その欲望が、人を滅亡と破滅に陥れます。金銭の欲は、すべての悪の根です。金銭を追い求めるうちに信仰から迷い出て、さまざまのひどい苦しみに突き刺された者もいます。しかし、神の人よ、あなたはこれらのことを避けなさい。正義、信心、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。信仰の戦いを立派に戦い抜き、永遠の命を手に入れなさい。命を得るために、あなたは神から召され、多くの証人の前で立派に信仰を表明したのです。